

当院の「身の丈に合った」多職種連携の実践に関する報告

演題No.P47-3

(道具としての「ICT」活用と、担い手としての院内・院外の「人・組織」への浸透)

HIRANO CLINIC 医療法人社団功和会 平野クリニック

久保田 義悟、青野 邦之、河合 容子、中井 康晴、黒木 基夫、坂本 和英、平野 功

はじめに&目的



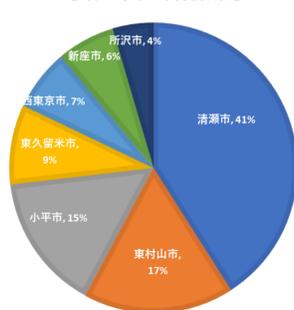
クリニック外観

- ①東京都清瀬市に拠点を置き、同市を含む7市を主な訪問エリアとする
- ②在宅医療スタッフ35名で、在宅患者約470名への訪問診療を行っている
- ③連携する院外多職種の事業所は、約200か所
 - ・居宅(ケアマネ):約120事業所
 - ・訪問看護:約60事業所
 - ・調剤薬局:約10事業所

訪問エリア
東京都・北多摩北部



患者さま住所別構成比



当院の多職種連携の取組み内容と効果を、道具としてのICTと、それを使う人・組織の両方の観点から報告する。

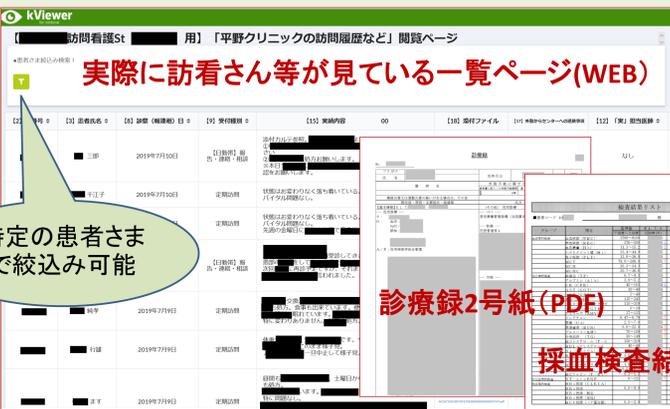
方法

院内の情報共有を経て、院外事業所との多職種連携スタート



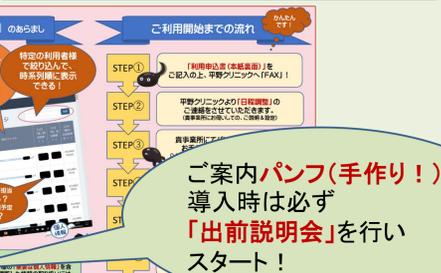
ICT多職種連携の具体的内容

トヨクモ kViewer トヨクモ がクラウドで提供する kintoneの外部公開サービスを起用



kintoneのレコード(カルテ情報等)がセキュリティ統制しつつ、ガラス張りで見える!

- 特徴
- ・シンプル重視(見せ方)
 - ・当院側は2度手間・2重入力はしないで情報共有を実現
 - ・メリハリ意識(人力と自動化)



結果

kViewer feat.平野クリニックの運用(閲覧)実績

事業所名	要員数	連携患者数	手の掛かる患者数	現況			(スタート期)			(直近)			(先方事業所の活用形態分類)
				2018年6月	2018年7月	2018年8月	(中略)	2019年3月	2019年4月	2019年5月	2019年6月		
1 薬局A (清瀬市)	8	407	49	1294	2581	2696		2794	3132	2738	2609	業務組込み型	
2 歯科診療所A (清瀬市)	4	79	7	186	361	358		745	495	404	431	業務組込み型	
3 訪看A (西東京市)	34	24	7	-	-	-		376	463	524	501	業務組込み型	
4 訪看B (清瀬市)	20	51	8	-	-	-		175	215	199	139	平時&有事バランス型	
5 訪看C (清瀬市)	17	37	4	-	52	117		106	132	190	124	平時&有事バランス型	
6 訪看D (清瀬市)	3	12	0	-	-	-		0	38	99	74	平時&有事バランス型	
7 訪看E (東村山市)	27	22	4	-	-	-		48	5	24	15	有事即応型	
8 訪看F (新座市)	3	10	1	-	-	-		0	3	11	12	有事即応型	
9 訪看G (東久留米市)	10	10	2	-	-	-		61	96	34	10	有事即応型	
10 訪看H (小平市)	11	4	2	-	-	-		7	31	12	9	有事即応型	
11 訪看I (東村山市)	7	2	1	-	-	-		-	(2019年5月開始)	20	3	(見極め中)	
12 ケアマネA (清瀬市)	2	24	2	40	18	47		101	86	94	71	平時&有事バランス型	
13 ケアマネB (清瀬市)	6	15	0	-	-	-		-	-	(2019年6月開始)	76	(見極め中)	
14 医科診療所A (東村山市)	1	0	0	-	-	-		11	0	0	0	連携患者なし (診連携休止中)	

※要員数=メンバー表(閲覧スタート時に取り交わす)記載人数 ※閲覧数の単位はPV(ページビュー)
 ※連携患者数=2019年6月末時点集計人数
 ※手の掛かる患者数=2019年1月～6月で定期訪問以外のレコード(緊急往診や病状相談)が10件以上あった連携患者数

「多種多様」な使われ方をしてもらっている! 敢えて3つのタイプに分類してみた。



考察

結果から得られた知見と今後の展開

①: 上記実績結果は、院外事業所固有の運営方針や事情(リーダーシップ、ITリテラシー)、要員数、連携患者数、「手の掛かる患者数」等の複雑かつ流動的な要因がある。(ゆえに今の閲覧数の多寡は副次的な結果と考える。)

③: 同時に今後の多職種連携の作法として、上手な使いこなし方を身に付けるため、各々が走りながら「最適解」を模索する出発点になると考える。

②: 現段階では、当院も連携先多職種もシンプルな使い方・付き合い方がお互いの身の丈に合っていると考える。但しイザという時に、これをフル活用できる素地を養っておくことが望ましい。

④: しかし...同時に次の段階への対応はぬかりなく情報収集と準備をしていきたい。
 【例】・医療等ID、各種ガイドラインなど(国)
 ・東京総合医療ネットワーク、多職種連携タイムライン(東京都)
 ・北北連携ネットワーク(北多摩北部2次医療圏)

第1回日本在宅医療連合学会大会
2019年7月15日・京王プラザホテル(新宿)

日本在宅医療連合学会
COI(利益相反)開示
筆頭発表者:久保田 義悟
開示すべきCOIはありません

連絡先:平野クリニック 事務 久保田 義悟
メール:kubota14005@kowakai-hcl.com